

初修外国語

中級中国語

《担当者名》呉 秀娟 (非) neimengxiujuan@yahoo.co.jp

【概要】

初級中国語を学習した学生を対象とする。正確な発音を意識しながら、基本的な文法項目および語彙の定着を図り、それらを用いた実践的な表現力の向上を目指す。日常会話に加え、医療現場やアルバイト先などの実際の場面を想定した表現を取り上げ、基本的なコミュニケーション能力の習得を図る。また、使用する教科書は医療分野を想定した教材であることから、医療現場において必要とされる中国語表現についても段階的に学習する。さらに、語学的指導にとどまらず、中国の伝統文化や生活習慣、ならびに現代中国の社会事情について、日本との比較を通して紹介し、異文化理解を深める。

【学修目標】

- 1) 中国語の基礎的な文法事項を理解し、適切に運用できることを目標とする。
- 2) 日常生活および身近な場面において、基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
- 3) 医療現場において用いられる基礎的な中国語表現を理解し、状況に応じて使用できることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	前期の学習内容の復習	呉
2	入院準備	お金の言い方	呉
3	入院準備	名詞述語文 / 選択疑問文	呉
4	家族との連絡	存在を表す動詞「有」と「在」	呉
5	家族との連絡	禁止を表す「別」と「不要」 / 常用量詞	呉
6	検査手配	時刻の言い方	呉
7	検査手配	時量補語と動量補語	呉
8	検査手配	前置詞の使い方	呉
9	病室設備	助動詞の使い方	呉
10	病室設備	動詞の重ね型 / 連動文	呉
11	胃腸炎	二つの「了」	呉
12	胃腸炎	経験を表す「過」 / 助動詞「要」	呉
13	リハビリと退院	「把」構文	呉
14	リハビリと退院	結果補語 / 比較の表現	呉
15	まとめ	半年間の総復習	呉

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験(レポート)60%、平常点(授業への取り組み・小テストや課題の成績など)40%

【教科書】

唐煒・呉秀娟・云肖梅・森若裕子 著『現場から生まれた医療のための入門中国語』(朝日出版社) 初級と同じ

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介・説明する。

【備考】

基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。  
中国の伝統文化や現代中国事情についても、映像資料を使用しながら適宜紹介する。

Google Classroom を利用して学習課題を提示する。

**【学修の準備】**

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回60分の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属の音声ファイルを活用しながら復習すること。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

( 看護学科 )

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

( 福祉マネジメント学科 )

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。